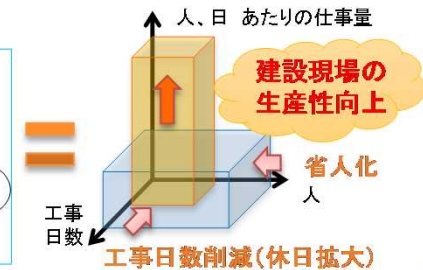


目的

最新技術の現場導入のための新技術発掘や企業間連携を促進し、建設現場の生産性向上を目指す。



活動内容

○企業間連携の場の提供

- ・行政ニーズや現場ニーズ、技術シーズの抽出(アンケート、ヒアリング等)
- ・ニーズとシーズのマッチング(ピッチイベント等の実施)

○技術開発の促進

- ・国等が指定するテーマに基づく技術開発(建設技術研究開発助成制度の活用)
- ・企業間で技術開発された有用な技術の普及拡大(現場への試行導入、NETISの活用等)

○社会実装に向けた制度基準の課題と対応の整理



H29 主なスケジュール

- 【2-3月】
 - ・ニーズ・シーズ抽出(アンケート、ヒアリング等)
- 【4月20日】
 - ・ニーズ説明会
- 【4月20日～5月31日】
 - ・建設技術研究開発助成制度(公募)
- 【5月29日(本日)】
 - ・ニーズ・シーズのピッチイベント
- 【6月以降】
 - ・建設現場への試行導入
 - ・建設技術研究開発助成制度(選定)

●ピッチイベント(イメージ)

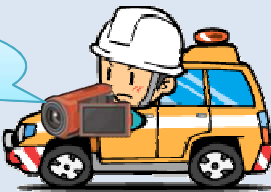
4月20日のニーズ説明会で示されたニーズとマッチングの可能性が高いシーズや、その他シーズについてニーズを有するものの前でプレゼンを行い、現場導入に向けたマッチングを促進する。

ニーズ
「現地の状況を把握したい」

説明者①
〔シーズのあるWG会員〕

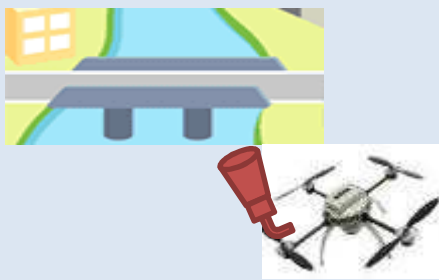
- 技術シーズの概要
- 現場導入に向けた希望
「画像処理と人工知能により、走行車両からインフラの異常を自動的に検知できるシステムを開発した」
「検知精度を上げるため、パトロール車にビデオカメラを置いてデータを収集したい！」

異常発見!



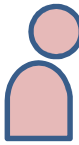
説明者②
〔シーズのあるWG会員〕

- 技術シーズの概要
- 現場導入に向けた希望
「コンクリート内部の鉄筋を診断するセンサを開発した」
「これをドローンに搭載してインフラ点検を行うため、ドローンの技術を有する者と共同研究を行いたい！」



WG会員等

家庭用ビデオカメラでもOK?



どの程度の期間が必要?




センサの重量は?



どれだけ深い位置まで検知できるの?

